

## 各分野における評価が低い項目に対しての改善策

### (1) 教育理念・目標

**【4】学校の理念・目的・育成人材像・特色などが、学生・保護者等に周知されているか**  
評価は3.0

新入生や保護者に対しては、入学式後のオリエンテーションや後期開始時、2年生に対しては前期や後期開始時において周知し、学校理解を徹底していく。

### (2) 運営

**【8】人事、給与に関する制度は整備されているか**

**【11】情報システム化等による業務の効率化が図られているか**

評価はいずれも、2.8

人事面では学生数の減少により経営が悪化し非常勤講師の数が減ったため、一部教員への授業時間増が生じた。経営状況を見ながら適正な業務分担を検討していきたい。今後、オンライン授業の実施を視野に入れ研究を進めたい。

### (3) 教育活動

**【24】職員の能力開発のための研修等が行われているか**

評価は2.8

各個人は研究日等を活用し、様々な方法で先端的な知識や技能の修得、能力開発に努めている。しかし、令和2年度はコロナ禍のため、校外での研修や研究大会等に参加するのは難しい状況だった。校内研修では、埼玉県教育委員会配信のインターネットによる公開研修を受講した。今後、長期休業中に実施される研修会などに積極的に参加できるように勤務日等を調整し、職員の能力開発に努める。

### (4) 学修成果

**【28】卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか**

評価は3.0

卒業生の社会的な活躍や評価、キャリア形成については卒業当初は把握するよう努めているが、年数が経つに連れ状況把握ができない者もいる。活躍が伝えられている卒業生は、例年、指導者として招き在校生に講話をしてもらっている。今後も卒業生の状況を把握し、授業や運営に生かしていく。

### (5) 学生支援

**【38】高校・高等専修学校との連携によるキャリア・職業教育の取組が行われているか**

評価は2.8

例年、埼玉県立寄居城北高校と連携して、インターンシップ事業を行っている。令和2年度はコロナ禍のため実施できなかったが、今後も続けていく。また、埼玉県立熊谷工業高等学校へは職業教育の出前授業を神流福祉会職員と連携し行った。今後も高等学校と連携し、取組を強化していく。

(6) 教育環境

**【40】学外研修、インターンシップ等についての十分な教育体制を整備しているか**

評価は2.8

コロナ禍の中、積極的な学外研修は困難であったが、次年度は社会状況に応じて研修を行っていく。

(7) 学生の受け入れ募集

**【42】学生募集活動は、適正に行われているか**

評価は3.4

オープンキャンパスや高校での進路説明会、職業訓練生を希望する社会人の学校見学等で、本校の魅力や介護のやりがい等、丁寧に説明を行い入学につなげている。高校1、2年生対象オープンキャンパスへの関心の高さ、定員を上回る訓練生の応募等の状況を踏まえ、入学生が増えるよう着実に取組を行っていく。

(8) 財務

**【45】中長期的に学校の財政は安定しているといえるか**

評価は2.8

令和3年度の入学生は前年度より増加する予定だが、財政的には厳しい状態が続いている。学生募集に関して様々な工夫をし、入学者を増加させたい。

(9) 法令等の遵守

**【50】個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか**

評価は3.0

紙ベースの個人情報に関しては施錠の厳格化等、またPC上の保護に関してはパスワードを設置するなどの対策を行う。

(10) 社会貢献・地域貢献

**【55】地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか**

評価は3.0

ハローワークによる職業教育訓練生に関しては積極的に受け入れている。地域に

対して公開講座等は実施していないので、関係機関と連携し実施する。